

経営改善支援の実績（個別事例）

支援先企業の概要	
・業種	建設業
・企業規模	中小企業者
経営支援前の企業の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・当社は、「不動産業」を営む関連会社を有しながら、従たる事業として「不動産業」を営んでおり、グループ内で非効率な事業展開を続けてきた。 ・加えて、関連会社へ長年にわたり流出した資金が不良化し、当社財務内容・資金繰りを圧迫。また、関連会社への資金提供を主として借入金にて賄ってきたことから、相当額が貸出条件緩和債権として固定化、同社ランクアップの阻害要因となっていた。 	
経営支援概要	
<p>< 当行の施策 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当行では、当社の合理化・効率化のためには、不動産事業部門を分離し関連会社へ統合することが必要であると判断、同部門の関連会社への営業譲渡を当社に提案した。 ・また、この提案を実行に移す過程で、グループ全体の負債の整理方法や返済方法などに関し具体的なアドバイスを行うとともに、税理士の全面的なバックアップの下、譲渡計画を構築させた。 ・さらに、関連会社に対し、営業譲渡にあたって必要となる資金を融資した。 	
<p>< 当該企業の施策 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画に従い不動産事業部門を分離、同部門にかかる資産、負債を関連会社へ譲渡するなど、事業の再構築を実施した。 	
経営支援後の企業の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・上記の結果、不良資産は大幅に圧縮され資産超過となるとともに、経費の削減により損益も大幅に改善、債務者区分は「要管理先」から「その他要注意先」へとランクアップした。 ・また、今後財務内容の改善による経営事項審査の評点上昇により、公共工事中心にさらなる受注の増加が期待される。 ・関連会社についても、グループとして不動産事業への経営資源集中による効率化が図られたことを一因として、収益が改善していくことが見込まれる。 	